

2019 年度 事業報告書

自 2019 年 4 月 1 日
至 2020 年 3 月 31 日

東京都中央区築地 3 丁目 11 番 6 号
(一財) 日本モーターサイクルスポーツ協会 (MFJ)

★3月書面審議時からアップデートしたものを赤字で示します。

I. 会員登録状況

1. ライセンス会員数 (各年度最終3月31日)

		2016年	2017年	2018年	2019年	2019年度計画	前年比	達成率
会員数	競技会員	14,590	14,991	14,555	14,019	14,300	96.3%	98.0%
	エンジョイ会員	2,988	2,756	2,765	2,398	3,000	87.0%	79.9%

2. 各種目のライセンス発行枚数 (各年度最終3月31日)

1) ロードレース **5,304枚** (昨年5,431枚) 前年対比 **98%**

種目	区分	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	前年比
ロードレース	国際		840	826	873	831	100%
	国内		3,470	3,428	3,418	3,301	98%
	フレッシュマン		1,390	1,255	1,222	1,238	95%
	ジュニア		43	41	42	61	105%
	計		5,743	5,550	5,555	5,431	5,304

2) モトクロス **1,438枚** (昨年1,549枚) 前年対比 **93%**

種目	区分	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	前年比
モトクロス	国際A級	161	153	155	137	139	101%
	国際B級	336	347	350	298	291	98%
	国内A級	252	247	238	210	201	96%
	国内B級	537	519	534	514	479	93%
	ジュニア	375	334	347	325	272	84%
	PC	32	42	41	65	56	86%
	計		1,723	1,642	1,665	1,549	1,438

3) トライアル **1,437枚** (昨年1,433枚) 前年対比 **100%**

種目	区分	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	前年比
トライアル	国際A級	146	144	149	145	145	100%
	国際B級	373	374	380	363	382	105%
	国内A級	345	322	312	278	287	103%
	国内B級	577	556	584	633	614	97%
	ジュニア	9	5	11	14	9	64%
	計		1,450	1,401	1,436	1,433	1,437

4) スノーモビル **110枚** (前年129枚) 前年対比 **85%**

種目	区分	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	前年比
スノーモビル	A級	79	71	66	56	45	80%
	B級	68	72	58	56	51	91%
	ジュニア	12	12	9	17	14	82%
	計	159	155	133	129	110	85%

5) スーパーモト **309 枚** (前年 313 枚) 前年対比 **99%**

種目	区分	2015 年	2016 年	2017 年	2018 年	2019 年	前年比
スーパーモト	A 級	213	205	217	182	196	108%
	B 級	112	128	130	131	113	86%
	計	325	333	347	313	309	99%

6) インデューロ **550 枚**(前年 526 枚)前年対比 **105%** (2017 年度より 4 クラス制)

種目	区分	2015 年	2016 年	2017 年	2018 年	2019 年	前年比
インデューロ	国際 A 級			57	53	59	111%
	国際 B 級	132	154	113	101	100	99%
	国内 A 級			57	50	51	102%
	国内 B 級	262	276	306	322	340	106%
	計	394	430	533	526	550	105%

7) ピットクルー **7,553 枚** (前年 7,927 枚) 前年対比 **95%**

種目	2015 年	2016 年	2017 年	2018 年	2019 年	前年比
ピットクルー	7,820	7,840	8,170	7,927	7,553	95%

8) 競技役員 **4,238 枚** (前年 4,282 枚) 前年対比 **99%**

種目	2015 年	2016 年	2017 年	2018 年	2019 年	前年比
役員・講師	4,380	4,283	4,328	4,282	4,238	99%

3. 賛助会員

	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	前年比
法人会員	48 件 (52 口)	53 件 (55 口)	51 件 (52 口)	55 件 (55 口)	60 件 (60 口)	109%
個人会員	1 件 (1 口)	0 件	0 件	0 件	0 件	

4. 年間プレス登録者

	ランク	2015 年度	2016 年度	2017 年度	2018 年度	2019 年度	前年比
プレス	A	70	78	74	79	81	103%
	B	18	15	23	25	19	76%
	合計	88	93	97	104	100	96%

Ⅱ. モーターサイクルスポーツ事業

1. MFJ 公認・承認競技会（講習会含む）の都道府県別申請状況

競技会申請数は公認競技会 442 大会（前年比 104%）承認競技会 74 大会（前年比 84%）合計 516 大会で申請数は前年比 102%。

	R D	M X	T R	S N	S M	E D	講 習 会	走 行 会	公 認 計	R D	ミ ニ バイク	M X	T R	S N	E D	行 事	承 認 計	申 請 数	中 止 計	開 催 数
北海道	4	7	7	3	0	6	11	0	38	0	1	0	0	0	1	0	2	40	2	38
東北	5	11	14	2	2	0	23	0	57	1	8	0	3	0	0	0	12	69	2	67
関東	12	15	14	0	2	6	31	3	83	8	3	7	5	0	1	4	28	111	6	105
中部	9	9	13	0	2	6	31	2	72	8	4	0	7	0	0	0	19	91	4	87
近畿	0	7	13	0	1	0	18	0	39	0	0	0	2	0	0	0	2	41	7	34
中国	8	9	15	0	1	4	12	0	49	0	0	0	2	0	2	0	4	53	1	52
四国	0	7	8	0	0	0	8	0	23	0	0	0	1	0	0	0	1	24	3	21
九州	8	9	9	0	2	6	47	0	81	3	0	0	1	0	2	0	6	87	16	71
合計	46	74	93	5	10	28	181	5	442	20	16	7	21	0	6	4	74	516	41	475
前年比	92%	95%	91%	100%	83%	112%	127%	71%	104%	91%	107%	88%	84%	0%	55%	80%	84%	102%	164%	93%
2018	50	78	102	5	12	25	142	7	424	22	15	8	25	0	11	5	88	507	25	512
2017	49	78	100	5	13	27	198	3	473	26	14	4	26	0	12	2	84	557	26	531
2016	49	73	100	5	13	27	190	10	467	23	14	5	27	0	16	5	90	559	40	519
2015	44	75	106	5	13	26	171	11	451	24	17	1	30	0	21	0	93	545	24	521
2014	43	84	102	5	15	18	134	23	424	21	18	4	25	0	6	1	77	501	17	484
2013	45	89	104	5	19	14	131	16	423	16	27	15	25	1	10	1	95	518	19	499
2012	43	93	106	6	23	15	125	13	436	18	33	15	22	1	13	5	109	545	14	531

2. 競技会開催状況

1) ロードレース

(1) 世界選手権/特別競技会

(世界選手権はスポーツ庁・観光庁後援事業)

格式	開催日	大会名	観客数							前年 比
			2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	
世界 選手権	7月25日～28日	鈴鹿8時間耐久 ロードレース	109,000	111,000	121,000	124,000	128,000	111,000	109,000	98%
	10月18日～20日	MotoGP 日本グランプリ	61,097	70,271	85,403	88,472	89,501	96,425	88,597	92%
アジア 選手権	6月28日～30日	鈴鹿大会	19,000	18,100	12,000	17,700	19,000	21,000	14,900	71%

(2) 全日本選手権

文部科学大臣杯は中須賀克行選手(JSB1000 ャルノ)が獲得。全戦スポーツ庁・観光庁後援事業・全戦FIM公認国際競技会

2019 全日本ロードレース選手権シリーズ										
	開催日	会場	観客数	JSB	GP 2	ST600	GP 3	全日本 計	MFJカップ JP250	総合 計
第1戦	4月5-7日	もてぎ	13,800	32	9	46	27	114	30	144
第2戦	4月19-21日	鈴鹿2&4	58,000	65				65		65
第3戦	5月24-26日	SUGO	7,750	28	10	46	20	104	29	133
第4戦	6月21-22日	筑波	7,500		11	41	28	80	30	110
第5戦	8月17-18日	もてぎ2&4	37,000	29				29		29
第6戦	8月31日9月1日	岡山国際	7,600	27	14	48	23	112		112
第7戦	10月4-6日	オートポリス	6435	30	12	50	20	112	17	129
第8戦	11月1-3日	MFJ-GP 鈴鹿	31,500	31	13	33	23	100	35	135
合計			169,585	242	69	264	141	716	141	857
1大会平均			21,198	35	12	44	24	90	28	107
前年			20,456	37	21	37	26	100	34	111
前年対比			104%	93%	55%	119%	90%	90%	83%	97%

(3) 地方選手権（ナショナル・インター）・承認ロード競技会（11月末現在）

地区	公認競技会				承認競技会			
	大会数	参加台数			大会数	参加人数		
		総台数	平均	前年比		総人数	平均	前年比
十勝	5	94	19	92%	6	155	26	86%
SUGO	4	177	44	123%	7	381	54	81%
筑波	4	301	75	108%	9	1,122	125	76%
もてぎ	4	344	86	97%	5	1,132	226	128%
鈴鹿	5	623	125	74%	14	1,256	90	102%
岡山	7	303	43	73%	10	428	43	75%
九州	7	275	39	129%	10	443	44	103%
2018 合計	36	2,117	59		61	4,917	81	91%
2017 合計	36	2,430	68		59	5,240	89	
2016 合計	41	2,736	67		66	6,351	96	
2015 合計	32	1,551	48		59	5,828	99	
前年比	100%	87%	86%		103%	94%	91%	

(4) 承認ミニバイク

地区	承認ミニバイク		
	大会数	参加人数	
		総人数	平均
北海道	1	72	72
東北	11	412	37
関東	1	1,003	1,003
中部	3	87	29
中国	4	312	78
2019合計	20	1,886	94
2018合計	28	1,395	50
2017合計	19	1,320	69
2016合計	17	1,450	85
2015合計	20	1,619	81
前年比	71%	135%	189%

2) モトクロス

(1) 全日本選手権

(最終戦はスポーツ庁・観光庁後援事業)

2019 全日本モトクロス選手権シリーズ											
場所	開催日	観客数	台数	IB	国際A級		LMX	CX	併催		
				Open	IA-1	IA-2			J85	J65	2st125
第1戦 九州	4月14日	7,100	215	78	26	43	28	14	26		
第2戦 関東	5月12日	9,200	236	76	24	39	30	10	31	26	
第3戦 中国	6月2日	3,307	206	71	24	41	32	10	28		
第4戦 SUGO	7月7日	3,800	249	68	25	38	29	9	24		56
第5戦 藤沢	7月21日	3,100	191	69	24	39	30	7	22		
第6戦 近畿	9月15日	6,285	318	84	26	46	33	9	39		81
第7戦 九州	10月13日	6,934	195	62	25	39	30	13	26		
第8戦 MFJGP	10月27日	5,200	227	78	28	40	36	16	29		
合計		44,926	1,837	586	202	325	248	88	225	26	137
平均		5,616	230	73	25	41	31	11	28	26	69
前年		5,628	234	77	26	41	36	12	39	23	
対比		100%	98%	95%	97%	99%	86%	92%	72%	113%	

(2) モトクロス全国大会 (スポーツ庁・観光庁後援事業)

開催日：2019年8月4日(日) 総参加台数131台(昨年131台) 開催場所：スポーツランドSUGO

年度	場所	NAOPEN	NBOPEN	J85	J65	チャイルド 50	計
2019年	SUGO	23	23	31	23	10	110
2018年	SUGO	31	20	47	21	12	131
2017年	GP弘楽園	23	23	45	29	17	137
2016年	GP弘楽園	23	32	49	29	29	162
2015年	SUGO	33	30	49	34	15	161
前年比		74%	115%	66%	110%	83%	84%

(3) 地方競技会 (ライセンス数は3月31日締め最終)

地区	年度	2019 地方選手権モトクロス			
		ライセンス	開催数	総参加人数	平均人数
北海道	2019年	186	7	792	113
	2018年	209	8	829	104
	前年比	89%	88%	96%	109%
東北	2019年	129	7	592	85
	2018年	149	7	616	88
	前年比	87%	100%	96%	96%
関東	2019年	392	10	1,065	107
	2018年	429	10	1,336	134
	前年比	91%	100%	80%	79%
中部	2019年	239	9	663	74
	2018年	246	9	573	64
	前年比	97%	100%	116%	115%
近畿	2019年	154	7	580	83
	2018年	168	8	584	73
	前年比	92%	88%	99%	114%
中国	2019年	125	8	424	53
	2018年	131	8	450	56
	前年比	95%	100%	94%	95%
四国	2019年	53	7	268	38
	2018年	55	6	197	33
	前年比	96%	117%	136%	116%
九州	2019年	160	6	401	67
	2018年	162	6	420	70
	前年比	99%	100%	95%	95%
全体	2019年	1,448	61	4,785	78
	2018年	1,549	62	5,005	81
	前年比	93%	98%	96%	97%

3) トライアル

(1) 世界選手権

(スポーツ庁・観光庁後援事業)

格式	開催日	大会名	観客数							前年比
			2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	
世界選手権	6月8/9日	日本GP	15,000	16,000	18,000	14,500	16,200	18,400	15,600	85%

(2) 全日本選手権

2019 全日本トライアル選手権シリーズ									
	開催日	場所	観客数	台数	レディース	IB	IA	IA-S	併催
第1戦	4月14日	近畿	1,050	141	7	75	39	18	2
第2戦	5月12日	九州	1,400	108	6	53	29	18	2
第3戦	6月23日	関東	3,200	149	7	85	38	18	1
第4戦	7月14日	北海道	700	74	5	35	17	17	
第5戦	9月1日	中国	1,500	154	9	77	39	19	10
第6戦	10月13日	中部	中止						
第7戦	11月3日	東北	1,200	123	10	63	31	19	
合計			9,050	749	44	388	193	109	15
平均			1,508	125	7	65	32	18	3
前年平均			1,524	122	6	65	35	15	4
前年対比			99%	102%	122%	99%	92%	121%	63%

(3) 地方選手権 (ライセンス数は3月31日締め最終)

地区	年度	2019年地方選手権トライアル			
		ライセンス	大会数	総参加	平均台数
北海道	2019年	36	6	159	27
	2018年	33	7	168	24
	前年比	109%	86%	95%	113%
東北	2019年	151	7	655	94
	2018年	137	8	684	86
	前年比	110%	88%	96%	109%
関東	2019年	393	7	654	93
	2018年	385	10	831	83
	前年比	102%	70%	79%	112%
中部	2019年	248	9	890	99
	2018年	241	9	782	87
	前年比	103%	100%	114%	114%
近畿	2019年	235	8	530	66
	2018年	234	8	589	74
	前年比	100%	100%	90%	89%
中国	2019年	155	10	699	70
	2018年	161	10	607	61
	前年比	96%	100%	115%	115%
四国	2019年	62	8	294	37
	2018年	71	7	271	39
	前年比	87%	114%	108%	95%
九州	2019年	157	7	560	80
	2018年	171	8	639	80
	前年比	92%	88%	88%	100%
全体	2019年	1,437	62	4,441	72
	2018年	1,433	67	4,571	68
	前年比	100%	93%	97%	105%

(4) 第30回トライアルGC

開催日：2019年11月10日 場所：大分県・玖珠トライアルヒルズ

	地区	会場	GC	オーバー 50	レディース	レジェンド	人数計	地区対抗	
								チーム数	人数
2019年	九州	玖珠	43	1			44	6	18
2018年	四国	かりんの丘	67	7	1		75	11	33
2017年	中部	キョウセイ	66	10	4	5	85	3	9
2016年	近畿	湯浅	57	7			64	6	18
2015年	中国	灰塚ダム	48	4			52	3	15

4) スノーモビル

	地区	開催日	A			B	併催				合計
			PRO	SXA1	SXA2	SXB1	OPCUP	J	SX200	EJ	
第1戦	真狩	2月10日	16	16		18	4	6			60
第2戦	士別	2月18日	14	17		21	7	8			67
第3戦	美瑛	2月24日	16	16		21	12	9	3		77
第4・5戦	青森	3月8～9日	15	17		18	2	7		2	61
		合計	61	66	0	78	25	30	3	2	265
		1大会平均	15	17	0	20	6	8	3	2	66
		前年平均	13	20	5	18	6	7	0	6	61
		前年対比	115%	85%		111%	100%	114%		33%	108%

5) スーパーモト

(1) 全日本選手権

2019	開催日	場所	観客数	台数	S1PRO	S1OPEN	S2	併催エリア
第1戦	4月7日	美浜	700	76	21	23	13	19
第2戦	5月12日	HSR九州	569	63	18	22	9	14
第3戦	6月16日	エビス	350	64	21	16	9	18
第4戦	7月8日	弘楽園	300	60	20	21	5	14
第5戦	8月19日	SUGO	950	73	23	17	9	24
第6戦	9月16日	名阪	300	64	21	18	7	18
第7戦	10月14日	美浜	300	68	18	24	8	18
第8戦	11月11日	茂原	400	67	20	20	8	19
		合計	3,869	535	162	161	68	144
		1大会平均	484	67	20	20	9	18
		前年平均	457	66	17	20	7	22
		前年対比	106%	101%	117%	103%	117%	81%

(2) エリア選手権を下記地区で開催。

エリア	大会数	総台数	平均	前年比
東日本	4	86	22	83%
中日本	3	55	18	80%
西日本	3	42	14	124%
2019年	10	183	18	
2018年	11	230	21	
2017年	13	260	20	
2016年	11	228	21	
2015年	12	280	23	
前年対比	91%	80%	87%	

6) インデューロ

	開催日	場所	合計	全日本					承認
				インターナショナル		ナショナル			
				A	B	NA	NB	W	
第1戦	3月24日	テジヤスラング<広島>	126	24	34	17	36	2	13
第2戦	5月18~19日	アルビアオロトランド<中部>	119	20	26	16	38	3	16
第3戦	9月14日-15日	日高<北海道>	145	21	29	19	45	4	27
第4戦	11/30日-12/1日	恋の浦シーサイドインテールパーク<福岡>	101	21	23	16	28	3	10
合計			491	86	112	68	147	12	66
1大会平均			123	22	28	17	37	3	17
前年平均			125	24	28	18	36	5	14
前年対比			98%	90%	101%	94%	101%	57%	118%

3. 代表選手派遣事業

1) モトクロス・オブ・ネーションズ[®] (国別対抗世界選手権)

モトクロス委員会にて選手の選抜を行い以下日本代表チームが参戦

開催日：2019年9月28日~29日 開催国：ASSEN(オランダ)

日本代表チーム (成田亮、富田俊樹、大塚豪太)

順位：29位 (B決勝10位)

2) トライアル・デ・ナシオン (国別対抗世界選手権)

・トライアル委員会にて選手の選抜を行い日本代表チームを派遣

開催日：2019年9月27日~29日 開催国：スペイン (イビサ島)

日本代表チーム ((藤波貴久選手、小川友幸選手、黒山健一選手)

順位：ワールドクラス 2位

3) アジア・カップ・オブ・ロードレーシング[®] (アジア国別対抗戦)

	車両	開催日	開催国	参加国	台数	順位
第1戦	Yamaha 125cc Scooter	9月28~29日	台湾	6	12	不参加
第2戦	Yamaha Exciter 150	10月12、13日	タイ	8	15	2
第3戦	Suzuki Gixxer 250	11月30、12月1日	インド	8	15	1

台湾は準備車両数が減少したため、参加国数が6か国に制限され、日本は未参加。

4) ISDE(インデューロ国別対抗世界選手権)

インデューロ委員会にて選手の選抜を行い、日本代表チーム（ワールドトロフィーチーム）が参戦

開催日：2019年11月11日～16日 開催国：ポルトガル

代表選手：釘村忠、前橋孝洋、渡辺学、馬場大貴 順位：13位／17か国中

※釘村忠選手は、個人成績にて日本人初のゴールドメダルを獲得

4. 2019MFJ Moto Awards(全日本選手権ランキング表彰式典)

全日本ランキング表彰式典を2019年12月14日（土）に東京・大手町の日経ホールにて開催。

- 1.全日本選手権各カテゴリーのランキング上位3名の表彰
- 2.世界選手権・アジア選手権等で優秀な成績を収めた者への特別賞
- 3.東北復興応援ツーリング・ジムカーナ等の表彰等

5. 2019年MFJモーターサイクルスポーツ殿堂

MFJモーターサイクルスポーツ殿堂評議会にて功労者2名を選出し2019Moto Awardsにて顕彰式を行う。

2019年度MFJモーターサイクルスポーツ殿堂 顕彰者

本田 宗一郎 日本メーカーとして初めて世界GPに参戦しその後全クラス制覇 鈴鹿サーキット設立

吉村 秀雄 日本のコンストラクターの草分けとして活躍

Ⅲ. 補助金事業

1. (公財) JKAオートレース

- | | |
|-------------------------|------------------|
| 1) 国内競技規則書(12月発行2020年版) | 交付申請額：8,424,000円 |
| | 交付額：2,450,000円 |
| 2) 競技会運営者用ピブス | 交付申請額：1,166,000円 |
| | 審査の結果採択されず。 |

2. 独立行政法人日本スポーツ振興センター「スポーツ振興くじ助成事業」

1) ドーピングコントロール助成金

従来、MFJから独立行政法人日本スポーツ振興センター(JSC)に直接補助金を申請していたが、国内スポーツにおけるアンチドーピング活動の組織改編があり、新組織の日本スポーツフェアネス推進機構(J-Fairness)が各スポーツ団体が個々に申請していた補助金申請を一括して行うこととなり、ドーピング対象大会はJ-Fairnessから指定され、日本アンチドーピング機構(JADA)が検査に費やした費用はJ-FairnessからJADAに助成される方式に変更されたことからMFJからの補助金申請は不要となった。検査は全日本ロードレース・モトクロス・トライアル競技会において各1回実施。

IV. モーターサイクルスポーツの普及振興

1. 普及強化事業

1) MFJロードレースアカデミー in Motegi (14期目)

主催：(一財)日本モーターサイクルスポーツ協会 共催：(株)モビリティランドツインリンクもてぎ
会場：栃木県・ツインリンクもてぎ 期間：2019年4月～9月(今期は9/16@は12/7へ変更)
内容：・会期は年間8回(10日間)

- ・年間参加(18歳以下) = **17**名(昨年17名)
- ・スポット参加(年齢問わず)：9名(昨年13名)。

年間講師：校長:坂田和人 インストラクター：小林龍太、武田雄一、小山知良、榎戸育寛

協力インストラクター：名越哲平、岩田悟、高橋巧、長島哲太、大久保光

協賛企業：本田技研工業(株)、(株)モビリティランド、(株)ブリヂストン、(株)アライヘルメット、
(株)和光ケミカル、ホンダ開発(株)、マスプロ電工(株)、住友ゴム工業(株)、
(株)ヒョウドウプロダクツ、アールケー・ジャパン(株)、(株)デイトナ、
(有)森製作所、(一社)ゴールデンエイジアアカデミー

2) MFJレディ-ストライアルプログラム2019(2期目)

主催：(一財)日本モーターサイクルスポーツ協会

会場：関東(オフロードパーク白井) 近畿(亀岡トライアルランド) 中国(灰塚ダムトライアルパーク)

チーフインストラクター：西村 亜弥

開催日程

- ① 7月27日(亀岡) ②7月28日(亀岡)
- ③8月11日(灰塚) ④11月16日(白井)

- 全18名参加 内新規参加者11名

初級クラス 11名 中上級クラス7名 年齢13歳～71歳

当スクールより全日本レディクラスへの参加2名(うち1名ポイント獲得)

全日本指定登録者14名過去最高

3) MFJ親子バイク祭り(9年目)

- ① 2019年3月22日(金)～24日(日)

東京モーターサイクルショー 体験試乗会 207名(土曜雨天中止)

- ② 4月14日(日)

モーターファンフェスタ FISCO 体験試乗会 107名

- ③ 6月23日(日)

全日本ロードレース筑波大会 体験試乗会 19名

- ④ 9月14日

第24回モトチャンプ杯(近畿スポーツランド)に協賛

4) MFJ東北復興応援ツーリング2019(5期目)

東北復興の応援を目的とする標記ツーリングイベントを試験的に開催した。

- 目的：東北の被災した東北沿岸部を訪れ、人と触れ合い消費行動をすることで復興の一助となること

- ツーリング期間：2019年8月3日～8月31日 ・対象地域：岩手・宮城・福島

今期は宮城県サンファンパークにおいてキックオフミーティングを開催し約200名のライダーにご参加いただいた。

Twitterに東北エリアのおすすめスポットやグルメなどツーリングのおすすめ情報を投稿いただき、集まった情報をもとにツーリングマップを作成し、HP上で公開した。

●登録者:394名 (WEB 無料登録) 2018年 426名 2017年 380名

●キックオフイベント

8月3日(土) 宮城県石巻市 サン・ファン・パウティスタパーク 来場者200名

イベント内容: オープニングセレモニー、トークショー、じゃんけん大会、地元グルメ出展ブース、スペシャルライブ等

主催: (一財)日本モーターサイクルスポーツ協会

公認: 国際モーターサイクリズム連盟 (FIM) FIM Ride Green 連携事業

後援: 観光庁、復興庁、宮城県、岩手県、福島県、青森県、一般社団法人日本自動車工業会、一般社団法人日本二輪車普及安全協会、一般社団法人全国二輪車用品連合会、全国オートバイ協同組合連合会等

5) モト・ジムカーナ

ジムカーナ統轄団体 (JAGE) と共催でジムカーナ競技を承認競技として開催、将来的な種目化を目指す。

①開催日: 2019年4月28日(日) 場所: ツインリンクもてぎ マルチコース

参加: 93名 (昨年90名)

②開催日: 2019年11月17日(日) 場所: 岡山国際サーキット ミニコース

参加: 83名 (昨年84名)

2. 安全・環境・健康に関する活動

1) ドーピングコントロール

①ドーピングコントロールを下記のような実施し、違反者は無かった。

種目	格式	実施日	場所	区分	検査数
ロードレース	全日本	5月26日	SUGO	MFJ事業	4
モトクロス	全日本	9月15日	名阪SL	MFJ事業	4
トライアル	全日本	6月23日	TWもてぎ	MFJ事業	4

2) サーキットアドバイザーへの補助

各サーキットのスクール・イベント時安全面の指導を行うサーキットアドバイザー制度促進の為、補助を行った。

3) インストラクターセミナー開催

MFJ インストラクター資格取得の講習会を以下のように開催

2020年1月20日 筑波サーキット 15名

1月25日 MFJ 会議室 15名

2月9日 鈴鹿サーキット 15名

2月15日 MFJ 会議室 12名

4) セーフティオフィサー・レースアドバイザーの派遣

全日本選手権の運営均一化、安全向上を目的に全戦をラウンドするオフィサー2名を派遣

- ・ロードレースは「セーフティオフィサー」モトクロスは「レースアドバイザー」
- ・競技監督とレースディレクションを構成し、コースの状況、運営について協議し執行
- ・ロードレースは、テクニカルアドバイザー1名派遣。

5) メディカル部会活動

- ・脳震盪判断基準と発生時のプロトコルを、各大会主催者に配布
- ・全日本ロードレースのライダーブリーフィングにて脳震盪への認識を高める為説明を継続実施

- ・ 全種目で負傷者申し送り制度・メディカルサポート制度を実施

6) モトクロス安全対策

- ・ 主要競技役員、主催者を集め、モトクロス運営統一セミナーを東西（大阪・SUGO）の会場にて実施。（2019年3月）
- ・ 選手に対する安全意識とマナー向上の指導、サーキットに対するコース安全性のチェックと改善指導、適正な運営に対する助言を主眼とし、元国際A級ファクトリー経験のあるライダー2名を全戦に派遣。
- ・ 違反行為や事故発生時の検証補助、さらに選手への違反・危険行為防止効果を目的とする動画を撮影し判断材料としている。

7) 観客安全対策

- ・ モトクロス競技安全対策の指針に基づき観客安全対策を各主催者に啓蒙
- ・ インデューロ主催者にコーステープの安価供給継続

8) 安全装備の研究

- ・ 競技用装備部会にてロードレース18歳以下のエアバッグ式プロテクション義務化を2020年に実施を告知
- ・ レーシングスーツのプロテクションは2021年より脊髄／チェストパッドはCE規格。その他肘膝パッドはCEもしくはMFJで定める規格を義務付ける。

9) セーフティ委員会活動

- ・ 重大事故発生時の報告から再発防止対策を検討。
- ・ サーキット公認規則の改定・査察の実施
コース改修査察・・・富士スピードウェイ 岡山国際サーキット
コース規定確認査察・・・HSR九州、エビスサーキット東コース、ツインリンクもてぎ、十勝SW

3. 情報発信活動

1) オフィシャルホームページ

- 全日本ロードレースおよび全日本モトクロスオフィシャルファンサイトとの情報連携。
- 全日本トライアルのライダー紹介、全日本スーパーモト、全日本エンデューロプロモーションサイトとの相互リンクによる情報提供。
- ネットワークショップ検索システムによる地域サポート窓口店舗情報提供。
- 競技会カレンダー検索を毎週更新、主要競技の結果速報・レポート・写真を掲載。
- 2019年4月1日より2020年3月31日までに、**2,940,619PV/月平均245,051PV**（昨年243,587PV）のアクセスを得た。
- Facebookにより迅速な情報発信

2) 競技規則書を26,000冊作成し競技会員並びに関係者に配布した。

3) メールでの情報発信をライセンス会員向けに月1回配信。

4) 2020年3月の大阪/東京モーターサイクルショーでMFJブースを設けPR活動を実施予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大によりショー自体が中止となり実施せず。

5) フリーペーパー「ライディングリミテッド」を年間1回発行。17,000部作成し、7月に開催される各種目の日本選手権シリーズをはじめとする主要競技会会場にて観客向けに配布し、後半戦の集客増員を図った。

6) ポスターカレンダー（加盟団体ごとの地域イベントを中心とした内容）作成、ネットワークショップを中心広く配布

7) 広報部会

定期的に会合を行い、メディア向け主要競技会ごとに2回づつ告知依頼と取材依頼のプレスリリース発信。また必要に応じて記者発表会等開催（今期は9月にモトクロスオブネーションズ日本代表派遣の記者懇談会開催）

8) プロモーション事業

以下項目について（株）トモウェルプロモーションと業務委託契約を結び活動を実施。

- (1) 映像製作/露出 (GMP 社)
- ① 全日本ロードレース・モトクロス全戦を収録し BS12 にてダイジェスト放映
(毎月末土曜 21:30~22:00)
 - ② Web 動画配信「Web ロックオン」と「You Tube Live」にて全日本ロードのライブ動画配信 (配信後アーカイブ) 全日本モトクロス MFJGP を 3 大会配信 ※youtube のチャンネル登録は 2 万人を超えた。
 - ③ BS11 での告知
BS11 のオートバイ番組「モトライズ」内で 2 分間のイベント告知コーナーを設け全日本トライアルの映像とともに全日本ロードレース・モトクロスの開催告知を行う (7 回)。毎週土曜 22:00~22:30
- (2) オフィシャルホームページ等広報 (YUP 社)
- ① 専用ホームページ「Superbike.jp」にて事前告知を中心に展開するとともに一般向け並びにプレス向けのメルマガの配信を行った。※ 3 月~11 月の訪問者数 **1,149,376** 件 (昨年 1,495,041 件 3 月~11 月) と減少。
 - ② 2020 年 3 月東京モーターサイクルショーにて次年度全日本選手権 P R の為、モーターサイクルスポーツ P R コーナーを設け大画面でのレース映像とレーシングマシン展示、中央ステージでのライダートークショーを開催予定であったが新型コロナウイルス感染拡大でショー自体が中止となり実施せず。
 - ③ シリーズ概要パンフ・プロモーション映像等の製作
- (3) ファンクラブの運営 (ライディングハート社)
- 全日本ロードレース選手権オフィシャルファンクラブ「Superbike Supprtters」会員を募集し、400 名が登録 (昨年 346 名)
- (4) M F J 会員へのメリット供与
- ・ 協力企業とのアライアンスによる会員メリットの提供
キズキレンタルサービス、ルートインホテルズ、ZuttoRide

V. 地方組織

1. 加盟団体運営

- 1) 各加盟団体理事会 (6 月~7 月) に出席し進捗確認
- 2) 12 月 19 日に加盟団体会議を開催し 2020 年度に向けた方針を説明

2. ネットワークショップ

ネットワークショップ加盟は 68 店舗 (昨年 81 店)

3. 加盟団体ごとの活動状況は以下の通り (会員数は 3 月 31 日締め最終)

地区	会員数	大会数		全日本選手権						Nショップ
		公認	承認	RD	MX	TR	SN	SM	ED	
北海道	879	38	2	0	0	1	3	0	1	3
東北	1,230	57	12	1	3	1	1	2	0	7
関東	6,258	83	28	3	1	1	0	1	0	16
中部	2,452	72	19	2	0	1	0	2	1	7
近畿	2,440	39	2	0	1	1	0	1	0	21
中国	1,026	49	4	1	1	1	0	1	1	7
四国	397	23	1	0	0	0	0	0	0	4
九州	1,451	81	6	1	2	1	0	1	1	3
全体	16,133	442	74	8	8	7	4	8	4	68
	17,024	424	88	9	8	7	5	8	4	81
	95%	104%	84%	89%	100%	100%	80%	100%	100%	84%

VI. 国際交流

世界及びアジアの一員としての MFJ の役割として、海外選手の受け入れ、選手並びに日本代表チーム、事務局員を海外に派遣し、国際交流を促進し、MFJ 並びにアジア地域における人材育成を通じて、活性化を推進した。

- 4 月 ・ FIM 車検長セミナーをツインリンクもてぎにて開催
受講者：12 名
- 5 月 ・ アジアロードレース選手権第 2 戦オーストラリア大会に事務局員を派遣
- 6 月 ・ アジアロードレース選手権第 3 戦タイ大会に事務局員を派遣
- 7 月 ・ アジアロードレース選手権第 4 戦鈴鹿大会に事務局員を派遣、鈴鹿 8 時間耐久に事務局員を派遣
- 8 月 ・ アジアロードレース選手権第 5 戦中国・珠海大会に事務局員を派遣
- 9 月 ・ 全日本エンデュロ選手権第 3 戦日高大会（国際格式）に事務局員を派遣
アジアロードレース選手権第 5 戦マレーシア大会に事務局員を派遣
トライアル・デ・ナシオンに事務局員を派遣
- 10 月 ・ アジア国別対抗ロードレース第 2 戦タイ大会に日本チームを派遣 参加 8 か国 2 位
・ 世界選手権グランプリ ツインリンクもてぎ大会に事務局員を派遣
・ 全日本 TR 最終戦東北大会のレディースクラスにスペインよりマリア・ジロ選手（世界 6 位）を招聘。2 位獲得。
- 11 月 ・ FIM 車両インスペクション（ヤマハ）に事務局員を派遣
・ 全日本トライアル SUGO 大会（国際格式）にスペインより女性ライダー参戦
・ FIM アジア作業部会・アジアモトクロス選手権に事務局員を派遣
・ アジア国別対抗ロードレース第 3 戦インド大会に日本チームを派遣
・ FIM 総会並びに表彰式に会長及び事務局員を派遣
- 2020 年 1 月 ・ FIM 公認車両インスペクション立ち会い予定
- 2 月 ・ FIM スーパーライセンスセミナー及び春季ジュネーブ会議に事務局員を派遣
- 3 月 ・ FIM コース査察（鈴鹿）立ち会い

Ⅶ. スポーツ安全保険等 (2019年4月～2020年3月末)

1. スポーツ安全協会の『スポーツ安全保険』登録業務並びに競技会での受傷者への手続きを行った。

スポーツ安全保険									
種目	区分※	事故通知				保険請求			
		A1	C	B	計	A1	C	B	計
ロードレース	国際		17		17		14		14
	国内		40		40	1	37		38
	フレッシュマン		6		6		4		4
	ジュニア					1			1
	計		63		63	2	55		57
モトクロス	国際A級		8		8		5		5
	国際B級		16		16		14		14
	国内A級		5		5		4		4
	国内B級		16		16		12		12
	ジュニア	7			7	9			9
	P C								
	計	7	45		52	9	35		44
トライアル	国際A級		1		1		3		3
	国際B級		4	1	5		2		2
	国内A級		3		3		3		3
	国内B級		1		1		1		1
	ジュニア								
	計		9	1	10		9		9
スノーモビル	S A		2		2				
	S B		3		3		3		3
	S J								
	計		5		5		3		3
エンデューロ*	国際A級		2		2		1		1
	国際B級		1		1		1		1
	国内A級		4		4		3		3
	国内B級		6		6		4		4
	計		13		13		9		9
スーパーモト	A		7		7		5		5
	B						1		1
	計		7		7		6		6
ピットクルー						1		1	
エンジョイ		16		16		18		18	
競技役員									
2019年度		7	158	1	166	11	136	-	147
2018年度		19	170	1	190	18	154	1	173
前年比 (以下四捨五入)		37%	93%	-	87%	61%	88%	-	85%
2017年度 (参考)		16	194	3	213	14	167	3	184

※スポーツ安全保険の加入区分 A1…中学生以下、C…中学卒業以上～65歳未満、B…65歳以上

*P(ピットクルー)の件数について…ピット作業中と承認競技中の合算

Ⅳ. 諸会議の開催 (2019年4月～2020年3月末)

諸会議					
4月	9日	ヘルメット作業部会	10月	1日	ロードレース施設会議(タイヤ・規則)
	10日	タイヤ部会		3日	モトクロス作業部会
	11日	4メーカー・広報合同懇談会		8日	第5回 技術委員会
	16日	第1回 技術委員会		10日	競技役員問題に関する作業部会
5月	22日	レーシングスーツに関する会合	11月	11日	中央スポーツ委員会懇談会
	27日	第2回 技術委員会		25日	トライアル作業部会
	30日	第1回 運営財務委員会		5日	加盟団体実務者会議
6月	4日	第1回 広報部会	12月	11日	第2回 ロードレース委員会
	7日	第1回 理事会		14日	第2回 モトクロス委員会
	14日	ロードレース作業部会		15日	第1回 トライアル委員会
	18日	第3回 技術委員会		21日	第2回 スーパーモト委員会
	18日	タイヤ入札委員会		26日	第6回 技術委員会
	25日	エアバックヒアリング		27日	第2回 中央スポーツ委員会
	26日	第1回 インデューロ委員会		4日	第2回 インデューロ委員会
	27日	第1回 評議員会		5日	第2回 運営財務委員会
7月	4日	第1回 ロードレース委員会	1月	13日	第2回 理事会
	17日	第1回 スーパーモト委員会		19日	第1回 加盟団体会長事務局長会議
	17日	トライアル作業部会		28日	第7回 技術委員会
	18日	第1回 モトクロス委員会		29日	タイヤ入札委員会
	19日	第2回 広報部会		31日	モトクロス作業部会
	23日	第1回 モーターサイクルスポーツ殿堂評議会		2月	10日
8月	1日	第1回 中央スポーツ委員会	19日		第1回 競技用装備部会
	5日	TRデナシオンチームジャパン調整会議	20日		トライアル作業部会
	19日	ヘルメット作業部会	24日		メディカル部会 ※延期
	23日	モーターサイクルスポーツ殿堂に関する懇談会	27日		第3回 運営財務委員会 ※書面審議
	27日	第4回 技術委員会	3月	3日	第2回 トライアル委員会 ※中止
9月	2日	メディア懇談会		5日	第3回 理事会 ※書面審議
	4日	JGP-3 チャレンジの打合せ		10日	第8回 技術委員会 ※延期
	11日	レーシングスーツ作業部会		17日	モトクロス作業部会 ※中止
	24日	第1回 スノーモビル委員会		24日	第2回 評議員会 ※書面審議
			30日	タイヤ入札委員会 ※延期	

Ⅸ. その他の事業

1. 競技会申請のWEB化

- ・ 競技会報告システムの第2フェーズに着手(ポイント集計・開催データ集計) ※実用は2019年より

2. セミナーの開催

- ・ 競技を円滑に運営する為、全国の主催者より競技監督・車検長等主要オフィシャルを集めセミナーを開催
 ロードレース：2020年2月22日 東京・印刷会館にて開催。講師9名、受講者69名
 モトクロス：2020年2月1日 MX モトクロスセミナーの趣向を変え、全日本・地方選の規則と運営の統一解釈を行うべく、加盟団体・地区MX委員長・施設代表者を集めたセミナーを開催。出席23名

以上

■ 2019 年度事業報告 附属明細書

2019 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

2020 年 6 月
一般財団法人 日本モーターサイクルスポーツ協会